

第2回男女共同参画シンポジウムアンケート

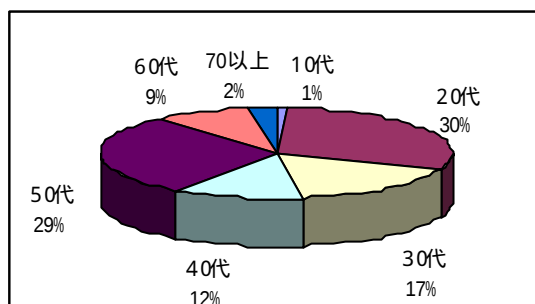
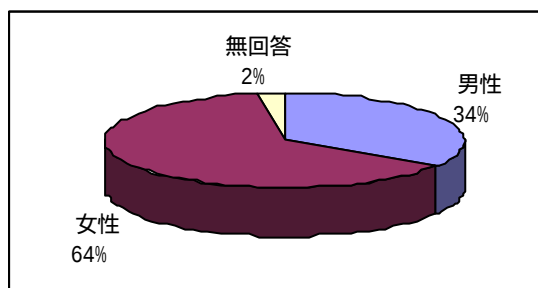
まとめ

2004年 1月

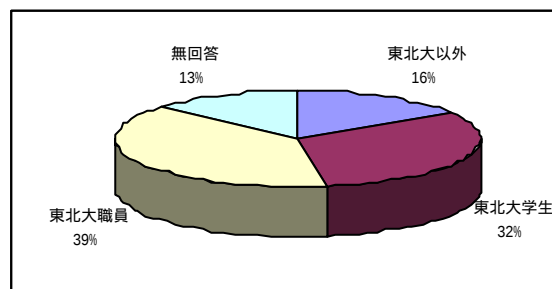
広報WG

約160名の参加で、82名の方からアンケートの解答が寄せられた。

Q1 あなたの性別と年齢をお教え下さい。



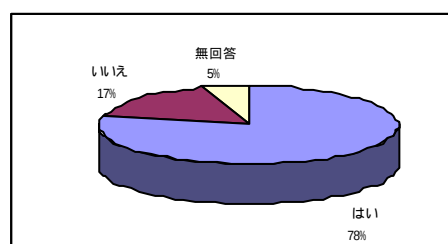
Q2 職業と、もしよろしければ、会社名、職名等もお教え下さい。



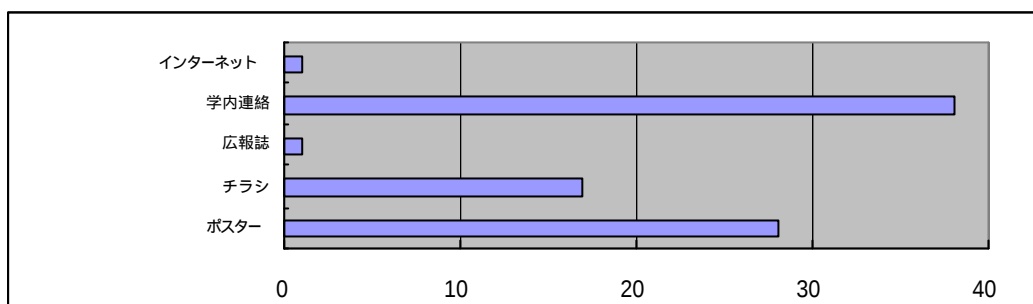
東北大以外：

柴田町教育委員会、仙台市立住吉台小学校、男女共生関連職員、医師、宮城県商工会連合会、商店、東北学院大学学部生、仙台白百合女子大学、主婦

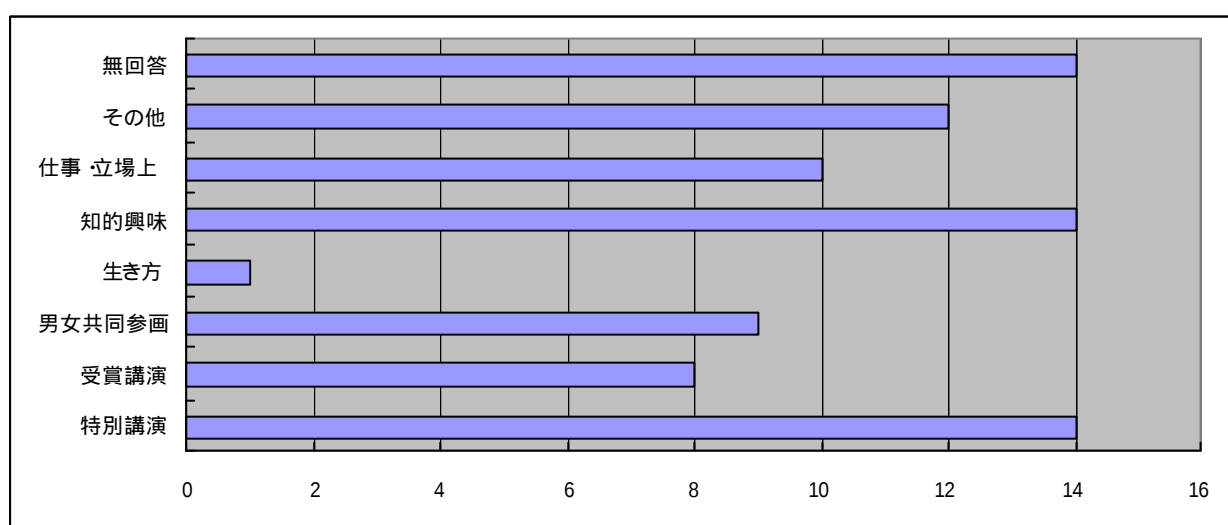
Q3 これまでに男女共同参画について何かご存知でしたか？



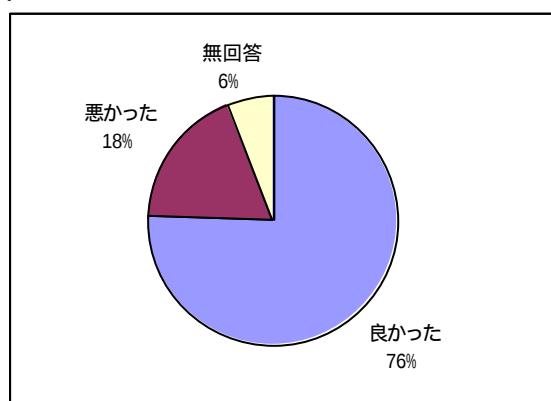
Q4 このシンポジウムのことをどこでお知りになりましたか。



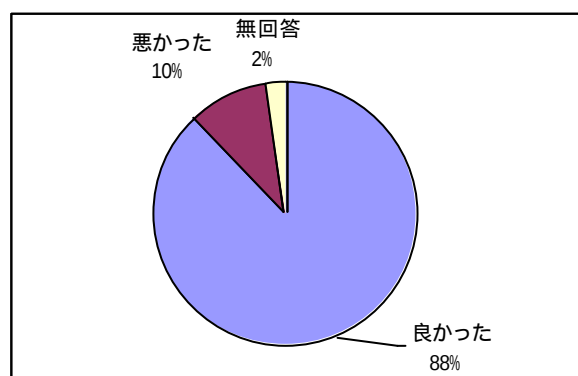
Q5 このシンポジウムに参加された動機は何ですか。



Q6 日時について^注



Q7 場所について^注 : わかりにくい



bとお答えの方にお聞きます。どのような日時が良いでしょうか。

土曜日の午前か午後

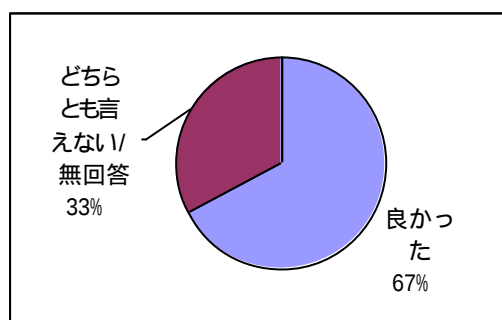
働いているものにとっては中途半端

一般市民の参加も求めているなら、普通の会社勤務の方が仕事を終わってから参加できる時間帯だともっとよかったかもしれない。

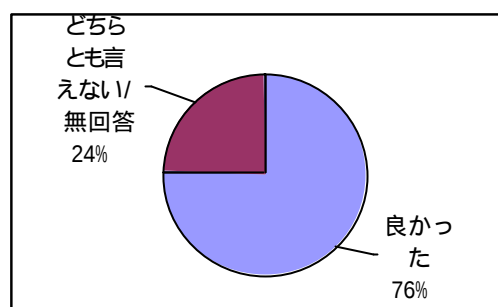
終了時間が少し早いと助かる。

注 参加できた人だけの解答である。

Q8 内容について：

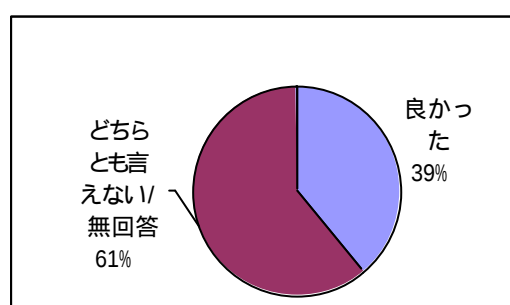


1) 受賞講演

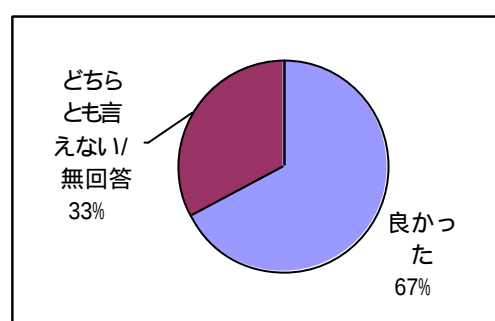


2) 特別講演

2) 東北大学宣言



4) 全体として



Q9 内容について、ご感想をお聞かせください。

(いくつかの代表的な意見 / 大部分が特別講演に関連して)

- 人類学的特別講演がおもしろかった。また、男女共同参画への考え方に対する示唆になるのではないだろうか
- 特別講演については、学部1・2年生に聞いて欲しい内容でしたが、学生へのアピールが不足していたと思う。広報の方法の検討が必要であると思う。
- 「星陵地区における病院保育施設の運営」のこれからに期待します。プロジェクト部門特別賞の内容についてもう少し詳しく聞きたいと思いました。特別講演は大変楽しく聞かせていただきました。良かったです。
- 受賞講演の病児保育施設の実践がとてもよかった。その実践がすばらしい。本日の三者に大きな力を与えたのではないのでしょうか。特別講演が非常に大勢の男性参加者にとっても納得のいくものではなかったかと思えます。
- とても楽しませていただきました。講演では、性差が究極要因としてオスがメスを獲得する能力に関係している物が多かったのですが、それ以外男女の役割に関係するものは多くないのか。また、人間はほかの動物に比べて男女の役割に関係するものが多いのか疑問に思いました。
- すべての講演それぞれ非常に興味深かったです。特に特別講演の長谷川先生による意思決定の場においては、女性ががんばって排出すべきとの言葉には感銘をうけました。
- これだけ視点多いと(たとえば生物学、経済学、法学)相互の理解が難しいが、このような様々な視点の議論は必要不可欠だと感じた。
- 自然科学分野と人文・社会科学分野との融合が必要な問題なのだと強く思いました。専門分野にとどまらずより連携をしていく必要がある。
- これからの課題も多く大変だと思いますが、意識の中ではわかっていても現実との関わりでそれぞれの分野で頑張っている様子が伝わってきた。

Q10 男女共同参画推進に関連したシンポジウムで、何かご希望の企画がありましたらお書き下さい。

- 21世紀COEの研究成果の発表してほしい。
- 学内外から著名な研究者（自然科学、社会科学、人文科学）を連れて招待して講演してほしい。
- 性差医療に関するもの
- 女性雇用に関するもの、職業ももつ女性に関するものを希望。
- 性差別してもいいと思っている人の話も聞いてみたいです。
- 全国的に盛んに見つけられるジェンダーフリーの考えを取り入れた条例等について議論してもらいたい。
- 大学の中の制度との関わりでどうなのか。具体的研究との関わりで沢柳賞などますますの発展をしてほしい。
- 今回のように分野をまたいだ企画を望みます。
- 専門的な話を聞けるだけで勉強になります。できればまた「性」をテーマにしてほしいです。
- 多くの市民の方にも拡大してほしい。

Q11 東北大学における男女共同参画推進、または学問・教育におけるジェンダー問題についてのご意見をお聞かせ下さい。

- 子供を持つ研究者の支援体制が整っていないようです。せめて保育施設を充実するよう努力が必要と思われる。
- 具体化すること、学内での実際に活かすことができるまで継続して取り組んでいただけることを期待します。
- 授業等でジェンダーについて取りあげていることはよい取り組みだと思っています。性教育、ジェンダー教育というものは高校までの段階で受けている人は偏りがあると思います。なるべくすべての学生がこの問題について考える機会を持つべきですね。
- 自治体において、条例が制定され具体的にどう実践していくかになっている。しかし、政策が進んでも労働分野での性差は不況により低滞している。法政策の研究を進めるということですが、民間での実現ができるような視点と性別役割分業が依然として変わらない現状打破にむけた提言・研究をすすめてほしい。また、市民により開かれるように。
- 社会は男女共同参画と平等がごちゃまぜになっている。この論点を整理する必要があるのだが、誰に教育するのかポイントを絞って進めてほしい。
- 病院だけでなく東北大学全体にわたって病児保育を考えるべきでないか！
- バックラッシュへの対応
- 女子学生を男子学生同様に教育研究において養成する点をもっと意識的に実践することを求めたい。各部署に女性を抜擢し育てることも必要かと思います。
- 沢柳賞についてはもっとマスコミにアピールすべきだ。私は今回のシンポジウムまでこのことを知らなかった。
- 大学内の雰囲気として、男女共同参画については発言しにくい（発言するとフェミニズム（ウーマンリブ）の戦死のように思われそうで、協調を大事にする日本の文化を考えるとそう思ってしまいます。）総長とか決議員の先生方がもっともっと積極的な発言をされて、大学として男女共同参画プロジェクトをあたりまえのものと受け入れられる環境を作って頂きたい。
- 男女共同参画がなにを目指すのか？平等というならば何を根拠にいうのか？男女が違うという趣旨の発表の中で、同じである論拠をアピールしてほしいなと思いました。東北大のセクハラ問題も議論してほしいです。
- 旧帝大の中で一番早く女子の入学を認めた大学にも関わらず、毎年セクハラ事件が起こる現状を考えるべきだ。

- とても勉強になりました。また聞きたいです。是非参加したいです。小学校現場に今日の話を持ち帰り、保健の授業の参考にさせていただきます。